

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

2013年8月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100583号
法人名	医療法人 甲和会
事業所名	グループホームなごみ
所在地	鹿児島市甲突町24番16号 (電話) 099-224-3106
自己評価作成日	平成25年7月18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年7月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営推進会議では常に地域との交流を念頭に努力しています。運営推進会議にて同じ食事をご一緒に頂く機会も作りました。また、消防訓練でも民生委員の方が通行人として参加して頂いております。同じ地域のグループホームの管理者にも運営推進会議に参加いただいて意見交換の場としています。介護者(スタッフは)介護研修に積極的に参加して全体的なレベル向上に努め、一人一人の利用者が楽しく過ごして頂けるよう、毎月の行事はスタッフ全員で協力し利用者や家族に提供しています。また、今年から誕生日には、利用者の希望にそえる誕生日プレゼント(外出や買い物など)が出来るよう、担当者が行なっています。裏庭でのうさぎとの触れ合いや畑の作物の収穫などは気分転換になっていただけていると考えています。また秋刀魚パーティーも好評でした。日々のレクリエーションも同じ繰り返しにならないようチェック記録し各担当者が工夫を凝らし行なっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市中心部の住宅街の一角、法人の医療機関に併設されているグループホームである。地域密着型サービスとして自治会に加入するなど地域交流に積極的に取り組んでおり、六月燈見学、小学校の運動会参加、小学生の学習の受け入れ、又、ホームの催し物(花見・敬老会・運動会・夏祭り)においては地域の方々や児童センターの子ども達の参加により準備、設営、余興など地域の協力の下に行われるなどの良好な関係が築かれている。安全対策も避難訓練に運営推進委員の方々に参加してもらうなど地域の協力者を確保できるように積極的に取り組み、町内会の理解と協力が得られた理想的な運営がなされている。運営推進会議も町内会長・老人会会長・民生委員・児童センター長・消防分遣隊・市議・近隣のグループホームの管理者・家族など幅広い分野の参加者により毎回、充実した内容の話し合いが行われてホームの運営や利用者のサービス向上に活かされた会議となっている。離れていても家族の絆が途切れないようにホーム内行事の充実や福祉バスを利用したそうめん流しや季節のピクニック、また、誕生日の個別の外出支援など家族参加の機会を瀬原に設け、家族も共に楽しんでもらえるように支援している。「行事・レクリエーションが多く、内容も形式だけでなく誠意や工夫が感じられる」「全職員が総力で利用者を喜ばせてくれている」との家族の評価もあり、家族にも喜ばれていることが伺われる。重度化や看取りにおける支援も本人・家族の思いや意向に沿ってホームで出来る最大限の支援に取り組んでおり、主治医・看護師・家族・職員がチームとなった看取り支援も行われている。理念に個人の尊重、家族との絆、地域の中での自立した生活を謳っており、まさに理念の実現に向け、さまざまな取り組みが行われているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、夕の申し送り時に必ず理念を唱和し心掛けるようにしています。それぞれの目標の設定も行い掲示し、振り返りを行っています。	開設時に職員全員の意見を集約して地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成している。定期的に理念の見直しについての話し合いもしており、振り返りの機会でもある。職員は毎朝唱和し、毎月の職員会議でも理念を確認するなど理念の共有と実践に繋げている。理念は玄関、ホール、廊下、スタッフルームに掲示してパンフレット、案内書にも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の児童センター・小学校との交流、町内会に加入し地域のお祭りや学校行事への参加。また、グループホームへの行事を通し交流を図っています。	町内会に加入して管理者が会合にも参加している。利用者も六月燈見学や小学校の運動会種目に参加するなどして地域の一員として交流している。また、小学校の学習の受け入れ、ホームの年間行事計画にも組み込まれている児童センターの子ども達との交流は利用者の楽しみとなっている。他にも、ホームの催し物(花見・運動会・敬老会・夏祭り)に毎回地域の方々の参加があり、設営や余興での協力が得られ地域と一体化した催し物となっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	小学生の授業にてインタビュー形式で関わりを持っていただいている。外部に向けた夏祭り等の参加ボランティアの協力依頼をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の中で様々な立場で活躍されている方に会議に出席していただき、マンネリ化の防止に努めています。	町内会長・老人会会長・民生委員・児童センター園長・市議・消防分遣隊・近隣のグループホーム管理者・家族・行政等の参加で年6回以上開催している。家族は固定せず、毎回多数の参加を呼び掛けている。運営推進会議を通じて地域の理解と協力が得られるようになり、利用者のサービスの質の向上、ホームの運営、安全対策に多に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電子メールで情報交換したり解らないことの質問事項について教えていただいています。訪問もして頂き直接指導していただいています。	生活保護受給者もおおり、福祉課との連携や、運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり、ホームの実情や取り組みを定期的に報告している。毎年、介護相談員の受け入れも行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し月1度会議を行い。拘束しないケアを実施実行しています。	契約書に「原則として身体拘束は行いません」と明記されており、身体拘束廃止委員会を設置して拘束のないケアに取り組んでいる。ホーム内、死角や階段など危険箇所はあるが、職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。帰宅願望の強い利用者には職員がさりげなく着いて行き、見守っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で学んだことを報告したり実際に言葉の暴力になっていないか、介護放棄になっていないかの検討、実践を直接指導しています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、研修報告書提出により復習しスタッフ全員が共有できるよう勉強会を開いています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には重要事項を説明し了承いただいた上で重要事項説明書とともに契約している。また、制度改正がある場合は再度説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃より家族には状況報告は電話や郵送にて蜜に行なっている。ご意見要望は向うよう努力している。</p>	<p>日常の面会時、電話連絡時等に意見、要望を引き出すようにしている。また、家族参加の行事（桜まつり・運動会・敬老会・遠足等）も多く、毎回、多数の家族が参加してスタッフとの交流や意見・要望等を聞く機会となっている。出された意見や要望については職員全員で話し合っサービス向上及び運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンス等を活用し意見を出し合い業務改善に繋げているよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月、各種委員会会議（身体拘束・感染予防・リスク予防・環境衛生・給食・風紀委員）及びカンファレンスで意見交換や話し合いを行っている。サービスの質の向上やホームの環境改善などさまざまな内容の話し合いが重ねられており、出された意見・提案については可能な限り改善及び実現に向けて反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>法人全体の会議に参加し情報を共有するとともに向上心を持って働けるよう勤める。働きやすい職場づくりのための話し合いの場を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップを図り外部研修にも積極的に参加できるよう取り組んでいる。研修後は報告書提出をしている。内部研修にて内容を共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協会の開催する研修に積極的に参加し交流や意見交換の場になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族からの情報提供、本人のこれまでの生活暦を大切に本人らしく生活していただけるよう努力しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>困っていることには、特に焦点をあて様々な対応が出来るよう話し合い実行している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族にもサマリー記入やお話しを頂き、意思や要望に沿える様努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家族的な雰囲気を作るようスタッフは受容、傾聴、共感を心がけ利用者様同士も支え合いを大切にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の行事にご家族の参加のお願いをしている。また2～3ヶ月に一度は家族会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、親戚、知人の面会や訪問を歓迎し居室にてゆっくりしていただけるような環境作りに取り組んでいる。個々の生活習慣を尊重し継続的に交流が持てるように取り組んでいる。	日常の会話等で本人の希望を聞き取り、家族の協力をもらいながら、入居前からの行きつけの美容室、入院先への面会、お墓参りなど馴染みの人や場との関係継続の支援を行っている。また、誕生日の個別支援として元勤務先や自宅周辺のドライブなどにも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の出来ること出来ないことを把握し、その方が少しでも自立した生活が出来るように取り組んでいます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	居宅後も相談して頂ける様取り組んでいる。必要なサービス提供も共に考え支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人一人とゆっくりと関わる中でスタッフが個々の話を傾聴し情報の共有を図り本人らしい暮らしをしていただけるように支援を行なっている。	家族、関係者からの情報、日常の会話や言動、表情などから思いや意向を把握するように努めている。難聴の利用者とは筆談で意思疎通を図り、思いや意向を把握できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に事前調査をにて利用者家族に話を伺ったり情報収集を行なっています。関わりをこちら側から持ち、気持ちの通じる関係づくりを目指しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体状況や認知症の状況把握に努め小さな動作からも感じとります全体像の把握に努め職員全体で情報を共有できるよう努力している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は日々の気付きや意見を反映しカンファレンスで検討し現状にあったケアが出来るように計画を立てる。変化があった場合は、その都度見直しを行いカンファレンスを開催し介護計画の作成を行なっている。	入居時に本人、家族の生活に対する意向を聞き、職員、主治医の意見を取り入れながら個々に応じた介護計画となっている。外出が好きな利用者には散歩や畑仕事、うさぎの世話などをサービスに取り入れるなど楽しみやほりのある生活が送れるように計画を作成している。日常生活で変化が見られたら都度見直しを行い、また、変化がなくても定期的(6カ月)に見直しをして現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の身体状況や認知症の状況等の把握に努め情報を共有できるように努めている。申し送り時には実践の結果、気づき等を報告し情報の共有を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に合わせそのときの状況に応じたケアを実践している。デイサービスとの交流も取り入れている。医療では必要に応じ訪問看護、訪問診療をとり入れて体調管理に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加を積極的に取り入れ閉ざされた空間での生活にならないよう努力している。日頃より児童センターや小学校、町内会会長様等の交流を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の病院受診にもスタッフが付き添い主治医に情報提供している。他科受診は基本的に家族の付き添いの元行なっているが、家族の都合がどうしても付かない場合や、特定の往診に関してはご家族の許可のもと往診していただいている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。受診は基本は家族にお願いしているが、本人・家族の状況に応じてホームでも柔軟に受診同行している。隣接する法人の医療機関や協力医療機関とは密に連携が図られ、ホームに看護師も常勤しており、医療連携体制による利用者の健康管理が密に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>些細な表情、動作、普段と違うと感じ病状の早期発見に努めている。日々の情報を看護師と共有し相談指導を受け本人様の生活を支えていけるように取り組んでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院退院時はサマリーにより医療連携を看護師がとる。必要であれば病院まで行き情報提供して頂きスタッフ全体で情報を共有できるように申し送る。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合の指針について説明し納得いただいています。家族主治医が話し合い本人が望むケアを行なえるよう準備し連携を図り支援しています。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時にホームの方針を説明している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医の判断のもと、家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに主治医・看護師・家族・職員がチームとなつての看取り支援も行っており「看取り介護についての同意書」も作成している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルを作成しスタッフが対応できるよう備えています。また、救急蘇生法の研修も全員が参加できる状態で行なっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合防火訓練を実施し入居者様との生活の中、危機意識を持てるよう取り組んでいる。</p>	<p>年2回昼夜間想定で防災訓練を行っている。運営推進委員の方々の参加もあり、地域とは災害時の協力の話し合いが行われている。自動通報システム、スプリンクラーは設置済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自己決定を大切にさりげない声掛けやケアを心掛けている。入浴もマンツーマンで行いプライバシーの配慮に十分な努力をしていると考える。	外部から講師を招いて定期的に勉強会を行い、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。特に排せつ介助は人格を尊重した声かけや対応に配慮するように職員に周知徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフの都合で物事が運ばないよう常に心掛けている。その方の意見を尊重し出来る限り希望に沿える形で考えるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に朝の起床や朝食などは、出来る限りその方のペースに合わせて食事をお出しする。スタッフの業務中心のケアにならないようしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	家族の協力も頂き身だしなみや清潔にも気を付け、さりげなくその人らしさが保てるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際会話を楽しみ食材で季節を感じられるよう取り入れている。基本的に本人の意思表示が合った場合一緒に準備や片付けを行なっている。	個々の力量に応じて下膳、食器洗い、家庭菜園作り、収穫など手伝ってもらっている。献立は栄養士の指導のもとに作成されており、栄養バランスのいい家庭的な食事である。ときには、手巻きすしやホットプレートを使ってのホットケーキ作り、七輪での秋刀魚パーティなど趣向を凝らして「食」が楽しめるように支援している。また、個別の外食や外出のレクリエーションでは家族も共に外食や外でのお弁当を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	減塩食、カロリー制限、刻み食、ミキサー食を個々の状況状態に応じた食事を提供できるようにしている。また、水分量のチェックも行なっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	スタッフは口腔ケアの重要性を理解し毎食後の口腔ケアを個々に応じ行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し可能な限りWCでの排泄を支援しています。失禁が見られたときは自尊心を傷付けないように対応しています。	身体状況に問題がない限り、日中はトイレ誘導を行ってトイレでの排せつを支援している。自立している利用者もあり、継続できるように支援している。職員の声かけ誘導により入居後に改善された利用者も多い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い食事の工夫やおやつ時にヨーグルト、ヤクルト、牛乳を摂取するなど自然排便を促せるよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に2~3回本人の希望を聞きながら身体状況に応じてゆっくりと入浴して頂いています。体調不良の時は清拭や手浴、足浴を行なっています。	基本的には週2~3日を目安としているが、個々の希望や身体状況に応じて回数や時間など柔軟に入浴支援を行っている。自立している利用者には職員の見守りで安全で安心して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ゆったりとある時間を個々の状態に応じ生活していただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルや内服薬説明書ファイルに情報を整理しつつでも確認が取れるようにしてある。また医師の指示のもと状態観察はしっかり行なっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみ事が増えるよう菜園や畑、うさぎの世話など外に出る機会も設けている。また個人に応じた気分転換を図れるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	公園の散歩を積極的に行い、畑の水遣りやうさぎの餌やりも行なっている。また、希望により近くの買い物にもスタッフが付きそうようにしている。	日常的には畑仕事、うさぎのお世話、ホーム前の公園の散歩、買い物などに出かけている。福祉バスを利用しての外出行事も多く、家族も共に楽しめるように年間計画を作成して普段行けないような場所でも楽しめるように支援している。また、誕生日の個別の外出支援も行って、利用者の行きたいところに家族も共に出かけられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と相談し本人管理していただいている方も数名いらっしゃる。自己管理できない方も預かり金を保管しており、外出先で見守りのもと使用できるようにしてある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>グループホームの電話にてご本人の希望により使用していただいています。手紙もポストまで付き添ったり、スタッフで管理してりしております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベランダには利用者と植えたアサガオやミニトマトがあり、ホールや廊下には毎月の行事の写真や季節感のある作品をを飾るようにしてある。</p>	<p>ハード面をカバー出来るように風紀委員を中心として廊下や共有空間を手作りの飾り物や暖簾、レクリエーション時の写真などで飾り、家庭的で温かい雰囲気になるように工夫されている。共用空間のダイニング兼リビングには大きなテーブルとソファなどが置かれ、利用者はそれぞれお気に入りの場所でくつろげるように配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人でゆっくり過ごされたい方は各居室にて過ごされる。また、ホールでは同じようにTVを観たりくつろげる環境を提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みのあるものを持ち込んで頂き少しでもご自宅に近い雰囲気の中で生活していただけよう家族に協力して頂いている。また、季節ごとに衣類の調整をしている。</p>	<p>居室の入り口にはそれぞれに違う柄の暖簾が掛けられている。寝具、テレビ、テーブルとイス、お仏壇、家族の写真、観葉植物などが持ち込まれ、それぞれに居心地良く過ごせるように工夫されている。また、安全面に配慮して一部畳敷きの居室もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールや廊下には不要なものは置かないようにし危険防止に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない